

会 議 録

1 会議名

平成27年度第10回高士区地域協議会

2 協議事項（地域活動支援事業等について）（公開・非公開の別）

（1）平成28年度高士区の採択方針等の検討について（公開）

（2）平成28年度高士区の審査方法の検討について（公開）

（3）平成28年度地域活動支援事業説明会及び活動報告会の実施について（公開）

3 開催日時

平成28年1月22日（金）午後6時30分から午後7時25分まで

4 開催場所

公民館高士分館 2階 中会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：飯野秀一、上野忍、太田早苗、小林トシ子、塩坪恭平（会長）嶋田征夫、
中川英一、保坂善夫、横川英男、横山とも子（欠席1人）

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長、小林主事

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【塩坪会長】

- ・挨拶

【小林主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長に議長を委任

【塩坪会長】

- ・会議録の確認：横川委員に依頼

3 協議事項の地域活動支援事業について、(1) 平成28年度高土区の採択方針等の検討に入る。我々の任期は4月28日までとなるが、採択方針及び審査方法等を本日の会議で決定し、次期委員へ引き継ぎたいと思う。実際の審査は次期委員が行うことになるので承知してほしい。はじめに、資料について事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.1により説明

【塩坪会長】

今の説明に質疑を求める。

【保坂委員】

我々の任期は4月28日までだが、次期委員はいつから任期がスタートするのか。また、新しい委員の第1回目の協議会などスケジュールは決まっているのか。

【小林主事】

次期委員の任期は4月29日からである。会議日程等はまだ決まっていないが、第1回目の会議では会長等を決めるので、第1回目の会議で提案事業に対するヒアリングを実施するのは難しいと思う。

【太田委員】

高土区では毎年、5月末の体育大会までに採択決定が出せるようにスケジュールを組んでいるが、来年度についてはどうしても間に合わないと思う。体育大会に影響はないか。

【小林主事】

提案書を事務局で受け付けた日以降であれば、採択決定を受ける前に事業に着手してもよいことになっている。採択決定はできないが、事業を始めていただくことは問題ない。

【太田委員】

体育大会について、新しい委員がどういう考えかは分からないので、例年通り採択されるかが心配だ。

【塩坪会長】

確かに心配な部分はあるが、高土区の採択方針と審査方法を大きく変えず、例年通りの方法で審査してもらえば、体育大会は毎年採択しているので、不採択となる可能性は

低いと思う。

【太田委員】

現委員が半分くらい残れば、採択の可能性は高いが、大幅に委員が変わるとどうなるのかと心配になった。

【飯野秀一委員】

それについては、次期委員へ引き継ぎをしてはどうか。

【小林主事】

要望があれば、事務局から次期委員へ伝える。

【塩坪会長】

我々がしっかりと引き継げば、体育大会までに間に合うように採択決定をしなくてもよいと思う。よって、募集期間を伸ばしてもよいか。

【保坂委員】

賛成である。

【塩坪会長】

それでは、募集期間について、今までは2週間程度としていたが、来年度は1か月程度とする。この他の項目について、変更すべき事項はないか。

【太田委員】

このままでよいと思う。

【塩坪会長】

ヒアリングについてだが、今までは「継続事業で、事業内容が毎年同じようなもの」はヒアリングを省略していた。しかし、来年度は審査する委員が変わるので、新規・継続に関係なく、提案のあった全ての事業に対してヒアリングを実施することとしたいと思うがどうか。

【横川委員】

よいと思う。その方が公平である。

【塩坪会長】

横川委員の言われたように、平成28年度は全ての提案でヒアリングを行うこととするがよいか。

(「はい」の声)

【保坂委員】

ヒアリングについて、他の区では事業内容によっては「現場での聞き取り」を実施しているようだ。私も過去に審査する際に現場の様子が分からず困ったことがある。高士区でも必要に応じて「現場での聞き取り」を実施してはどうか。

【塩坪会長】

他の皆さんはどうか。

(「よい」の声)

では、ヒアリングは全ての事業に対して実施し、必要に応じて現場での聞き取りを行うこととする。

募集期間は、先ほど1か月程度に延ばすと決定したので、4月1日から28日までとするか、5月2日までとするかのどちらがよいか。

【保坂委員】

5月2日でよいのではないか。

【塩坪会長】

他の皆さんも5月2日としてよいか。

(「よし」の声)

それでは、募集期間は4月1日から5月2日までとする。

次に(2)平成28年度高士区の審査方法の検討に入る。事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.2により説明

【塩坪会長】

今の説明に質疑を求める。

(質疑なし)

一括審議にして採択したいと思う。変更した方がよい項目があれば意見を願う。

【中川委員】

今年度と同じでよいと思う。

【塩坪会長】

今年度と同じでよいという意見が出たが、よいか。

(「はい」の声)

それでは、全て今年度と同様とする。次に(3)平成28年度地域活動支援事業募集説明会及び活動報告会の実施について、事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.3により説明

【塩坪会長】

今の説明に質疑と意見を求める。

(質疑、意見なし)

1の目的と2の開催日及び会場についてはこれでよいか。

(「よし」の声)

3の地域協議会の活動報告について、どなたか活動報告の発表者になって欲しいと思うので、発表してくださる方は挙手願う。ちなみに④雄志中学校の生徒との意見交換会については、本日欠席されている飯野副会長が発表してくださると返事を頂いている。

【飯野秀一委員】

⑤高士区の自主的審議（若い世代との懇談会）については、私から発表する。

【塩坪会長】

それでは、⑤については飯野委員にお願いすることでよいか。

(賛成の反応)

横山委員は、地域活動支援事業の提案者として活躍された経験もあるので、②地域活動支援事業についての発表をお願いしたいがどうか。

【横山委員】

承知した。

【塩坪会長】

③視察研修については、上野委員、太田委員、小林委員、嶋田委員、保坂委員の5人の中から決めたいと思うので、次回の会議までに考えておいてほしい。

- ・次回の協議会：2月18日（木）午後6時30分から、高士分館中会議室で開催
- ・事務局に連絡を求める。

【小林主事】

- ・募集説明会及び活動報告会について日程等、確認連絡

【塩坪会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。